

柘植地域

まちづくりだより

第306号

発行

柘植地域まちづくり協議会事務局
三重県伊賀市柘植町一〇六四七番地
(柘植地区市民センター内)



発行日

〒五一九一四〇二
電話 四五八八八〇 FAX 四五八八八三
令和六(2024)年七月一日(月)

柘植地域俳句コーナー
溝浚ひ
光りて水の
尖りゆく
中嶋 國博

『柘植のうつくし松』

『うつくし松』とはアカマツの天然変種で幹は主幹が無く、根本近くから枝が放射状に分かれ、樹幹は傘を広げた様な特異な形態をしています。

滋賀県湖南市平松地区(旧甲賀郡三雲村)に自生する「平松のウツクシマツ自生地」は、江戸時代から多くの人を訪れる街道沿いの観光名所として知られ、大正10(92)年「国の天然記念物」に指定されています。現在、ウツクシマツ自生地は湖南市が管理団体となっており、育苗センター等々整備。

柘植地区に於いても2箇所に「うつくし松」が現存して居り、一つ目は柘植小学校校門の両サイドに一本ずつ植栽されて居ます。もう一箇所は、余野公園に数本、自生しており、6月に余野公園保勝会にて保護の為、チェーンで囲う措置をしています。

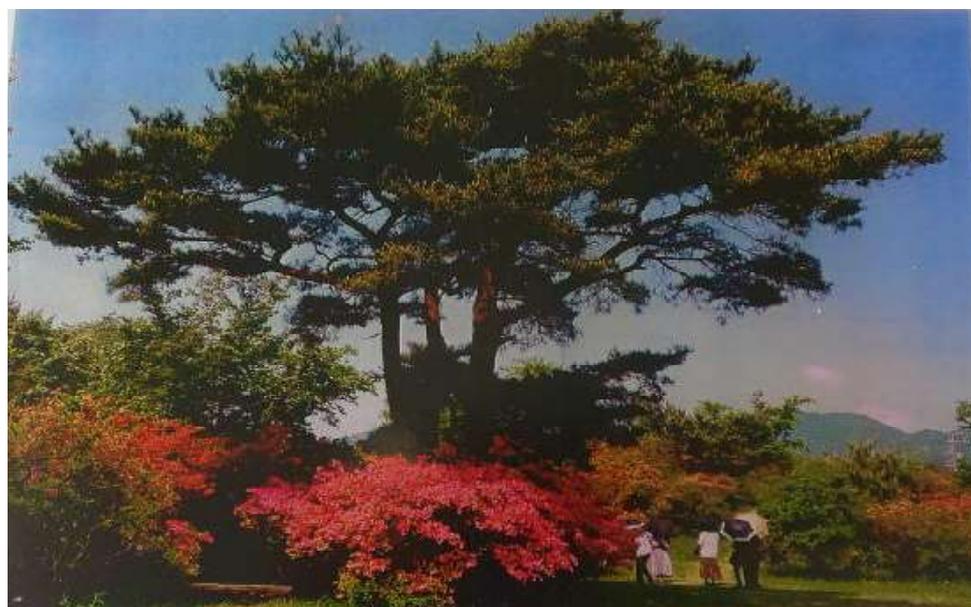
伊賀市が募集している「令和6年度キラッと輝け!地域応援補助金事業」に、柘植地域まちづくり協議会から年初に応募申請。

2月22日、本庁での審査会でプレゼン結果、採択され、本事業の開始に至った次第です。

【事業名称】『柘植のうつくし松』保存・継承を基軸にした地域活性化事業
と銘打ち、3ヶ年事業計画を策定。先月、「実行委員会」を立ち上げ、発起人の宮田会長が実行委員長に就任。今後初年度事業を具現化すべく鋭意取組む計画です。

秋に「種」を採取し冷蔵保存、育苗作業に入りますが、発芽しても「うつくし松」と認められるものは全体の5%位に尽き、正に大変希少な松ではあります。

種々の工程を経て『うつくし松』のクロインを誕生させ、小学校や余野公園に移植する作業に於いては、此れまで『うつくし松』に長く関わって来られた岡島久司さん(前余野公園保勝会会長)はじめ様々な専門家、樹木医等の方々に御教授戴き、案内「看板」の設置・周辺美化活動・小学生に依る各種イベント開催等々、地域の活性化に資する事が本事業の目的です。『鈴鹿国定公園』の「特別地域」に指定されている



『余野公園』を「ツツジ」に並ぶ「うつくし松」の名勝地と成る様注力する計画です。【余野公園に自生する『うつくし松』とツツジ】

【左に掲載した写真は清水一利さん(余野公園保勝会会長)が育成中のもので、緑の部分が僅かに発芽した幼苗】



『柘植のうつくし松を育成する会』第1回「実行委員会」を6月11日に開催。(余野公園保勝会/前会長・現会長・柘植小学校校長・上町区長・倉部区長・倉部区民等出席) 実行委員会の組織化、「規約」の策定、本年度月次事業計画の確認等、協議しました。

【サークル・教室紹介】第25回

『上町・愛の杖』

月例担当 丸柱 典子

いきいきサロン上町区『愛の杖』6月度例会を市民センターに於いて6月13日午後開催致しました。

この日は「伊賀地区交通安全協会・女性部」がボランティアとして来所され、交通事故防止の為の講習をして戴きました。大型「紙芝居」や「腹話術」を駆使し、特に高齢ドライバー向けの留意点は何か、



どの様な点に気を付けなければならぬか等々のお話は大変勉強に成りました。

取り分け、『夕方(薄暮)の時間帯は、見え難くなる為、黒っぽい服装よりも、なるべく「明るい色の服装」を身に付ける方がドライバーからの視認性も良く、より安全が保たれます。』・・・と注意喚起され、成る程と、再認識した次第です。

また、「身体機能」は加齢に伴って変化、徐々に衰えて来る事は否めません。故に、

- ① 『車間距離』をとる事。
- ② 『脇見運転しない』で前方をよく見る。
- ③ 『緊張感』を持って運転する事。

「腹話術」コーナーでは、ちっちゃな子どもの『ゴウ君』(信号のゴウくん)が、① 「横断歩道」では、信号が青になってももう一度、左右をよく確認してから渡る事。② 「飛び出し」の多い交差点では、車は遠くに居る様に見えていても通り過ぎるまで待ちましょう。③ 夕方は、「反射タスキ」を付けるなど、遠くから車も判る事の大切さを強調されました。

此の日のまとめとして、
【慣れた道でも常に危険を予測して行動する事】の大切さを痛感した次第です。

【オーナー・インタビュー】

第一回

伊賀ドライブインを経営されています
(株)あじみ屋 代表取締役社長の
清水幸隆さんと6月20日面談致しました。



【加賀支配人／宮田会長、清水、同席】
清水社長(73歳)は、月一回(第3木曜日)
「営業会議」を開催する為、本社(大阪府
松原市)から、伊賀ドラに來られて居ます。

(株)あじみ屋は、「柿の葉寿司」等々を
中心とした各種食品【登録商標・柿千】の
製造販売が主体で、全国のパートに店を
構え、通販・オンラインショップでも販売。

また、和食料理店「天川茶寮・柿千」
や「伊賀ドライブイン」を経営、従業員
は50名を数え、「社会貢献活動」の一環とし
て障がい者雇用、高齢者雇用を推進中。障
がいの有無や年齢等を超えて、互いに協力
し合いながら同じ職場で働く「ノーマライ

ゼーション」を実践中。更に、仕事と家庭
生活の両立を図れる様、パート社員をはじ
めとする柔軟な雇用体制を構築、地域雇用
の創出にも貢献した功績が評価され、大阪
府知事から『大阪府ハートフル企業大賞』
を受賞しました。

伊賀市緑が丘に「上野工場」を構える(株)
「あじみ屋」の創業は、1978年(設立1982年)
業容は更に拡大しており、「クリーン発電
メガソーラー」を経営する(株)「あじの木」
は、大阪府で最大規模の2万5千坪で事業
展開中です。

又、他のグループ会社として、ワコンフ
ズ(株)〈カット野菜製造〉、(株)A.B.C.
メディカルフーズ〈委託給食事業〉を展開。

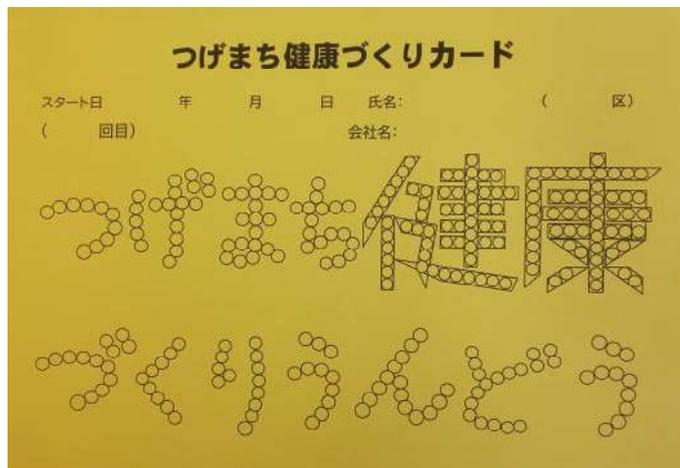
一時体調を崩されてから体質改善を図る
為に、毎日10数km以上の散歩と、食事療法
を実践中。毎朝、黒にんにくと特製ジュー
ス(牛乳にモロヘイヤ・バナナ・ハチミツ
をミキシング)を飲み、ご飯は玄米で納豆
とキャベツ、旬の果物と・・・菜食が基本。
肉は食わず、「青魚」が良いとの事です。

今後、『伊賀ドライブインに於いて様々
ないイベントを柘植地域まちづくり協議会と
一緒に企画し、地域の活性化の一助に成れ
ば幸いです。』と語ってくれました。
【経営理念】 『生活の幸に貢献する』

【始めよう 健康づくり】

つげ福祉ネットワーク会議議長 森下泰成

健康寿命の増進と、将来的な介護予防を
目指して、柘植地域まちづくり協議会に於
いて『つげまち健康づくり運動』を開始し
ます。開始は8月からとし、配布の項目カ
ードから実施項目を、1日3ポイントを限
度に行って戴きます。カードのポイント欄
が全て埋まりましたら市民センターへ提出
戴き、達成者の中から抽選で素敵なプレ
ゼントをお渡しします。《一日の中で、少
しの時間、体を動かしましょう!!》



裏面に健康づくり項目と得点表を記載／各種体操 自転車

- グラウンドゴルフ
- ボールヨガ
- ポーリング
- ウオーキング
- ジギング
- 日本舞踊
- ダンス 野球
- 卓球 テニス
- 農作業 縄
- 跳び水泳
- 風呂トイレ
- 掃除 サロン
- への参加カ
- ラオケも



【柘植保育園 年長組さん来所】

6月7日(金)朝、柘植保育園の年長組(そらぐみ)さん16名が担任の中西先生「右」と藤本先生に引率されセンターに來所。恒例となった「ジャンボカボチャ」の苗を持ち帰り、園で育ててくれます。今秋開催予定の「ジャンボカボチャコンテスト」までに、どんなに大きく育つか楽しみます。

【8月度の行事・会議日程】

- ◆ 獣害対策【出前講座】伊賀市農林振興課
8月1日(木)午後2時〜センター「生活環境部会」
- ◆ 令和6年度第2回「センター長会議」支所
8月2日(金)
- ◆ 令和6年度第5回「教育文化部会」
※7月16日の部会で8月部会の日程決定
- ◆ 令和6年度第5回「健康福祉部会」
8月6日(火)
- ◆ 令和6年度第5回「役員会」8月7日(水)
- ◆ 「やさしい日本語教室」・生涯学習課
8月8日(木)
- ◆ 令和6年度第5回「12区連絡協議会」
8月9日(金)
- ◆ 令和6年度第2回「運営委員会」
8月23日(金)
- ◆ 「たのしい天空大河教室」・生涯学習課
8月26日(月)
- ◆ 近隣フィールドワーク「やまなみ工房」
「人権啓発推進委員会」8月26日(月)

【注】8月の「広報等配布日は、2回有ります。
【8月1日(木)と8月30日(金)に9月分】

★☆☆ 編集後記 ☆☆☆

雲の峰 いくつ崩れて 月の山 松尾芭蕉
 蟻の道 雲の峰より 続きけん 小林一茶
 梅雨晴れや 所所に 蟻の道 正岡子規

▼芭蕉が『奥の細道』の道中、山形県の出羽三山を訪れた際に詠んだ句。月の山とは「月山」を指し、日本最大の楯状火山で、古代より修験場として信仰を集めた。入道雲が崩れて山に成ったと感じる壮大な景色を表しています。

▼一茶は、此の蟻の行列は彼方の入道雲の方へ続いて居るのだろうかと詠み、アリと入道雲、極小な物と極大な物との対比が見事で、延々と続くアリの行列が彼方の入道雲まで続いて行くというユーモアの有る句。

▼子規は、梅雨の晴れ間を喜び懸命に働く蟻たちを微笑ましく見つめ、其の様に共感したのかも知れません。日常の中にある小さな幸せ、喜びが感じられる身近な光景を描く。東大在学中、夏目漱石と知り合い、俳句を研究。「ホトトギス」を中心に活動を行う一方、短歌の革新にも注力。後続の文学に多大な影響を与えました。

▼今年も半分が過ぎ早折り返し。7月22日は大暑。皆様お身体御自愛下さい。〈清水〉